

III

次の2つの方程式

$$(\log_4 2\sqrt{x})^2 + (\log_4 2\sqrt{y})^2 = \log_2 (\sqrt[3]{2} \cdot x\sqrt{y}) \quad \dots\dots\dots ①$$

$$\sqrt[3]{x} \cdot \sqrt[3]{y} = 2^k \quad \dots\dots\dots ②$$

を考える。①, ② を同時に満たす正の実数 x, y が存在するとき、定数 k のとり得る値の範囲を求めよう。

$\log_2 x = X, \log_2 y = Y$ とおき、①, ② を X, Y を用いて表す。まず、① を考えよう。

$$\log_4 2\sqrt{x} = \frac{\log_2 x + \boxed{\text{A}}}{\boxed{\text{B}}}$$

および

$$\log_2 (\sqrt[3]{2} \cdot x\sqrt{y}) = \frac{\boxed{\text{C}}}{\boxed{\text{D}}} + \log_2 x + \frac{\log_2 y}{\boxed{\text{E}}}$$

より、① は

$$(X - \boxed{\text{F}})^2 + (Y - \boxed{\text{G}})^2 = \boxed{\text{HI}} \quad \dots\dots\dots ③$$

となる。② も同様にして

$$4X + \boxed{\text{J}}Y = \boxed{\text{KL}}k \quad \dots\dots\dots ④$$

となる。

XY 平面上で考えると、円③の中心から直線④への距離 d は

$$d = \frac{|\boxed{\text{MN}} - \boxed{\text{OP}}k|}{\boxed{\text{Q}}}$$

であるから、 k のとり得る値の範囲は

$$\boxed{\text{R}} \leq k \leq \boxed{\text{S}}$$

である。